

チームやまなし

県政報告

山梨県公式HP



山梨県

新型コロナウイルス
感染症の総合情報は
このQRコードへ

目次

2020年11月議会での一般質問より

- ・リニア効果 県全域へ波及を! 新しいボロ電を富士川町へ
- ・保育園「途中入所」問題 通年入所で安心して働ける環境づくりを
- ・山梨を日本のシリコンバレーに! 燃料電池研究拠点を山梨へ
- ・医療難民ゼロへ! 「へき地医療」充実 遠隔診療による医療格差是正
- ・富士川町に林業学科を誘致 林業分野におけるプロフェッショナル育成
- ・サイクリングロードの新ルート創出

リニア駅→富士川町 新交通

新しいボロ電を富士川町まで延伸、県内交通の充実を



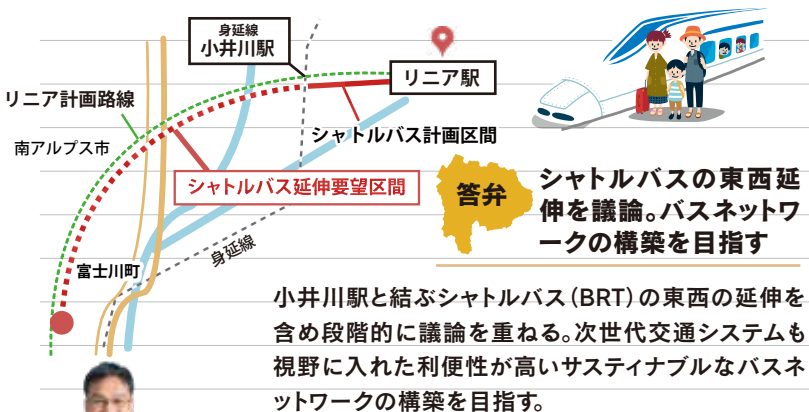
リニア駅に直接アクセスできる

ボロ電に代わる公共交通の充実を!

としきの質問

令和2年11月議会 一般質問より

リニア開通も、県内移動が不便なものであれば意味がない。峡西南地域にはかつてのボロ電に代わる交通システムが必要。リニアの側道を利用しリニア駅に直接アクセスできるシャトルバスを富士川町まで走らせることで県内の公共交通が充実する。県はどう考えるか?



質問のポイント

- 品川から25分で大津(山梨リニア駅)に到着できても、県内移動が不便であれば意味がない。
- 県内の利便性、リニア開業効果を高めるには「2次交通の充実」が最も重要なテーマ。
- かつてのボロ電のように、リニア駅に直接アクセスできるシャトルバスを富士川町まで走らせ西郡地域の公共交通の充実を図る。

※ボロ電とは?

甲府駅前から富士川町の甲斐青柳駅までを結んでいた1930年開通の路線電車。1962年に廃止されるまでの間、地元では親しみを込めて「ボロ電」とも呼ばれていた。

保育園「途中入所」問題

通年入所で安心して働ける環境づくりを



途中入所できず仕事を辞めるケースも

円滑な通年入所への取り組みを!

としきの質問

令和2年11月議会 一般質問より

現在は、保育所入所時期が4月に固定。
4月入所限定では育休期間とのミスマッチも。
年度途中でも入所できる柔軟な対応が必要だと考えるが、県は現状をどのように認識しているか?



答弁 入所対応の在り方を検討し
希望保育所への入園整備へ

一部の地域で希望する保育所に入れないといった状況も見られ、対策が必要であると考えている。保育士の確保や途中入所への対応の在り方を検討し、希望する保育所へ円滑に入所できる保育環境の整備につなげていきたいと考えている。



質問のポイント

- 調査では山梨県は「待機児童ゼロ」。しかし保育所への入所が希望通りに叶わないという保護者の切実な声が存在する。
- 4月入所が基準の現状では途中入所できず、育休期間とのミスマッチが生まれ、仕方なく仕事を辞めてしまうケースも。
- 年間を通じ入所できる柔軟な対応で、子育て世代の不安を軽減し、育休後も安心して働き続けられる環境整備を。

※育休期間とのミスマッチ

現状の4月入所では、取得した育休期間が年度途中(例えば6月、10月)までの母親の場合、保育所への途中入所が認められないため、子供を保育所に預けることができないことをいいます。

望月としき

〒400-0502 南巨摩郡富士川町最勝寺1188-6
TEL.0556-22-2330 FAX.0556-48-8765

● メール・・・toshiki4192@gmail.com ● ブログ・・・ameblo.jp/toshikimochizuki/
● フェイスブック・・・www.facebook.com/toshiki.mochizuki ● ツイッター・・・@toshikimochi



【発行】チームやまなし

〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1-6-1
TEL.055-223-1705 FAX.055-223-1701

2021年2月定例議会より
[チームやまなし]は[未来やまなし]として活動します。

山梨を日本のシリコンバレーに!

意外と知られていない山梨の燃料電池分野での先進性



燃料電池 で山梨は **トップクラス** の実績
研究機関誘致で **シリコンバレー化** を!

としきの質問

● 令和2年11月議会 一般質問より

政府は2050年までにガス排出量ゼロを目指す「カーボンニュートラル」を宣言。山梨大学をはじめ、燃料電池分野で実績のある本県にも追い風となる。山梨を本分野の聖地として認知向上するために、どのようなPRを進めていくか?



写真 / 山梨県公式HPより

答弁

メディアへの関連施設ツアー企画
展示会へのブース設置でPRする

2020年11月に県内外のメディアを対象に関連施設を巡るツアーを企画。多くのメディアが参加。また新聞広告、大規模展示会へのブース出店など県の優位性を広く国内外へアピールする。



質問のポイント

- 水素・燃料電池分野において山梨大学では世界トップレベルの研究が進められている。
- この知の宝を活かし、企業を育て、米国のシリコンバレーのような燃料電池バレーを山梨県内に創出。
- 本県の先進的な取り組みは全国的に認知されていない。対外的にPRすることで燃料電池分野での認知向上を目指す。

※シリコンバレーとは?

最先端のハイテク企業が集まるアメリカ合衆国にある都市の名前。スタンフォード大学があり、卒業生への起業推奨や、新技術を持った会社の誘致など、地域と大学の連携により急速に発展した街。

富士川町に林業学科を誘致

林業分野におけるプロフェッショナルを育成!

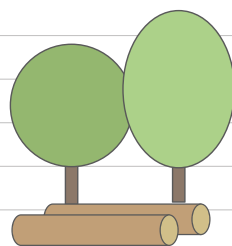


富士川町に **農業大学校林業科** 設置へ
林業就業者育成 へ積極的取り組みを!

としきの質問

● 令和2年11月議会 一般質問より

令和4年に県立農業大学校に林業学科が新設。富士川町にある県森林総合研究所にてカリキュラムが行われる。峡南地域は古くから林業の盛んな地域。林業収益向上のためにも新人育成と併せて業界全体の能力向上などの役割を持たせてはどうか?



答弁

先端技術、マーケティングなど
林業就業者向け研修も行う

新学科では学生の教育と併せ、現在林業に携わる方々を対象としたICTの活用、マネジメント力、マーケティング力向上の研修も行い、県内林業の人材育成拠点として活用する。



質問のポイント

- 峡南地域は林業の盛んな地域であり、林業教育に欠かせない広大な実践フィールドがある。
- 林業学科設置を機に、首都圏からの学生確保に力を入れ、県内林業の一翼を担う人材育成に注力する。
- 同時に現場で働く林業就業者のスキル向上を目的としたプログラムも用意。山梨の林業活性化を推し進める。

医療難民ゼロへ!へき地医療

医師不足による医療格差をなくす遠隔診療の導入実現へ



山梨の **無医地区** は5市町村7地区
遠隔診療 **へき地医療** への取り組みは?

としきの質問

● 令和2年11月議会 一般質問より

身延町をはじめ容易に医療機関を利用できない「無医地区」が5市町村7地区あり、さらにへき地では医療を受けることが困難な状況。ICT(情報通信技術)など遠隔診療を含めた県の取り組みの現状は?



答弁

へき地医療拠点病院を指定し
遠隔診療も積極的に導入する

へき地医療拠点を指定し、巡回診療を支援中。巡回診療車等への助成、医師の確保など継続的に実施する。積極的な遠隔診療推進も進め、医師会推奨アプリの導入など準備を進める。



質問のポイント

- 現在山梨には「無医地区」が身延町など5市町村。また早川町など医療の確保が必要な地区が9市町村ある。
- 峡南地域の医師の数は全国平均の半分以下。へき地では医療を受けることが困難な状況にある。
- へき地医療提供には、遠く離れた医師から助言可能な「遠隔診療」の導入が不可欠。

※遠隔診療とは?

パソコンやスマートフォンを経由して健康相談や離れた場所から問診、診断を行う新しい診療方法。自宅にいながら専門医の診療を受けることが可能になる。

富士川サイクリングロード 復活へ

雄大な富士を眺めながらサイクリングが楽しめる富士川サイクリングロード。かつては往来ができましたが、横川の工事により現在は分断された状態にあります。そこで、



新ルートの創出

サイクル王国やまなしを目指すためにも富士川サイクリングロードの復活は急務。そこで国交省、南アルプス市、富士川町と調整し、新しいサイクリングルートを創出しました。完成すれば「道の駅とよみ」から身延線「十島駅」までの走行距離56kmの富士川流域眺望コースサイクリングが楽しめるようになります。



活動報告



● 最後の増商デパート



● 高校生議会



● ゆるキャン△イベント
本栖高校校庭キャンプ